

## 立駐の「安全性」揭示

### 自走式工業会、利用者向け

日本自走式駐車場工業会（東京都港区、飯島登美夫理事長、03・3456・0781）は11日、日本建築センターで承認された自走式立体駐車場への認定品表示板制度を、2018年1月に始めると発表した。同制度は、認定駐車場が高い安全性や品質を備えていることを、利用者などに明示するためのもの。92年から16年末までに建設した自走式立体

駐車場数は、全国で累計約9300。壁を設けない構造のため、津波が通り抜けられる。また大人数を収容でき、スロープは車いすでも移動しやすいことから、04年の新潟県中越地震では実際に支援物資の発着拠点としても利用された。これを海トラフ地震に備え、受け、同工業会が認定を受けた駐車場について、認知を低いと感じている。今後予想される南



ての認知度を上げる活動を始めた。

飯島同工業会理事長（写真）

は「自走式立体駐車場が避難所となることへの認知が低いと感じている。今後予想される南海トラフ地震に備え、認知を広げたい」と抱負を述べた。